



小松原中学校だより

～持続可能な社会の創り手となる人間力あふれる生徒の育成へ向けて～

令和6年
11月29日(金)
【第11号】

学びの場を磨きます。清掃オリエンテーション開催!!

11月5日(火)、全校生活委員会の花原凜香委員長を中心に清掃オリエンテーションが全生徒参加で行われました。これは、清掃場所の変更に伴い、清掃手順の確認を行うだけでなく、「何のために清掃活動を行うのか」について、今一度再確認するための時間でした。本校の清掃のスローガンは「3 Shine (サンシャイン) 清掃」です。「①心を輝かせる」「②作業を輝かせる」「③場を輝かせる」以上3つの輝かせることをキーワードにしたスローガンです。「無言で、時間いっぱいすみずみまで、自分自身で見つける」清掃を頑張っています。



特に「清掃場所のどこをどのように自分自身で考えて清掃できるか」がとても重要であると考えます。わずか10分間の時間ですが清掃活動を通じて行う「自分磨き」を大切にしたいですね。

心を耕す時間…鑑賞教室開催!!

11月12日(火)の午後から本校体育館にて、鑑賞教室が行われました。今年は演劇鑑賞で、本物の舞台芸術を鑑賞することを通して、演劇の楽しさや素晴らしさを味わい、豊かな情操や感性を養うとともに、望ましい鑑賞の態度やマナーを身に付けることをねらいとしました。

名古屋市に本拠を置くプロの劇団「うりんこ」に来校していただき、演題「わたしとわたし、ぼくとぼく」の演劇を行ってもらいました。体育館には、いつもと異なる特設のステージと客席が用意されました。



ストーリーは、保育園に勤める30歳の健人が、男性保育士に対する保護者の偏見に落ち込み、ゲイである秘密を打ち明けられずに引きこもっていたところへ、1人の少女が現れ「世界を救ってほしい」と言われ、1997年の教室にタイムワープします。そこで、10歳の自分と出会うという展開で進んでいきました。

セクシャルマイノリティーを題材として扱っており、一人一人違う生き方をどう認め合っていくか、誰にでも無縁ではない、いじめや孤立の問題とどう向き合っていくかを問われる作品でした。

主な月行事

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| 12月 3日(月) | 小松原中学校オープンスクール ~6日(金)まで |
| 5日(木) | 3年: 小松の森(総合的な学習の時間発表) 情報教育の日⑤ |
| 13日(金) | 科学の甲子園(兵庫県姫路市) ※本校から2年生3名出場 ~15日 |
| 15日(日) | みやこんじょボランティアフェスティバル |
| 18日(水) | 小中合同あいさつ運動 |
| 24日(火) | 第2学期終業の日(終業式、大清掃、表彰等) |
| 25日(水)~1月6日(月) | 冬期休業 |
| 1月 7日(火) | 第3学期始業の日 |